

特集

松浦党の里 ほんなもん体験

ほんもの体験日本一のまちづくり

市報

まつら

Matsuura



Contents

特集

松浦党の里 ほんなもん体験

ほんもの体験日本一のまちづくり…… 1～11

インフォメーション…………… 12～22

旬^{とき}の人…………… 23

まちの話題…………… 24～27

スポーツ…………… 28～29

リレーエッセー…………… 34

次代をほぐす
産業
創造都市
まつら

8月号

2008

No.32

特集

松浦党の星 ほんもん体験

ほんものの体験日本一のまちづくり

平成14年に発足した松浦体験型旅行協議会が、初めて修学旅行生を受け入れたのが平成15年5月。島民280人の青島に100人の修学旅行生がやってきました。

あれから5年、松浦体験型旅行協議会は着実に受け入れ人数を伸ばし、今年度は15,000人を受け入れるまでになりました。

今月号では、体験型旅行の「はじまりから今」を紹介します。





HONNAMONTAIKEN

交流人口拡大への取り組み

交流人口拡大に向けた取り組みのはじまりは、平成8年4月にさかのぼります。当時、どのような取り組みがなされ、どのようにして体験型旅行へと関心が高まっていったのでしょうか。

松浦体験型旅行のはじまり

長崎県北部と佐賀県西部地域では、民間主導による広域のかつ総合的地域づくりとして「海洋クラスター都市構想」を進める取り組みが行われてきました。クラスターとは「ぶどうの房状」という意味です。この房は6つの地域から構成されています。そのひとつである旧松浦市・福島町・鷹島町は平成8年4月に松浦クラスターを設立し、「新産業創出事業」と「交流人口拡大」をテーマに活動してきました。

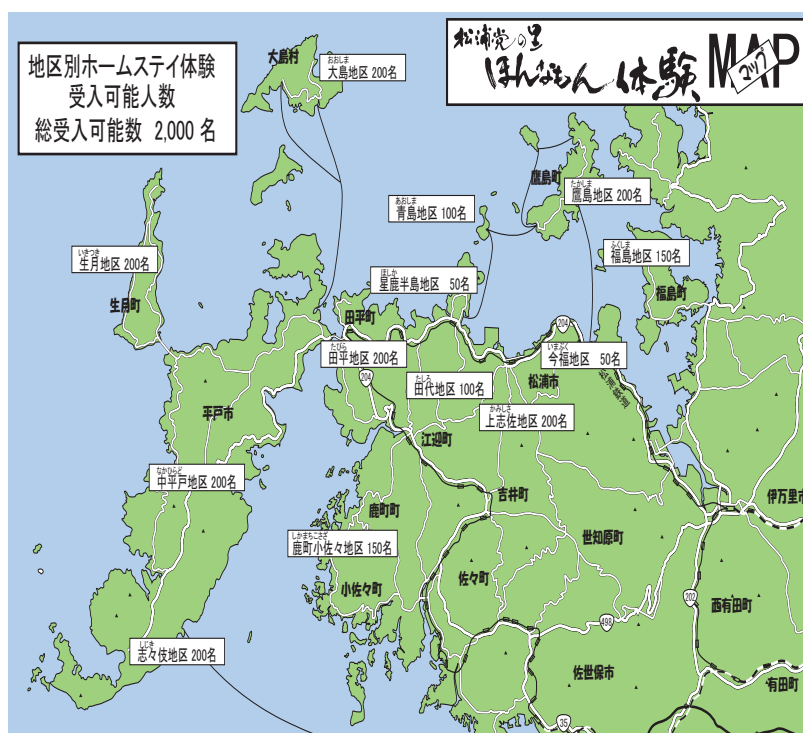
一方、平成12年3月に体験型旅行誘致事業が紹介された会合に出席していた当時の市長は、交流人口拡大

には体験型旅行が有効ではないかと考え、松浦クラスターとともに検討を進めました。地元で講演会を開催したり体験型観光の先遣地視察を行ったりする中で、松浦市でも十分に成功の可能性があると判断。平成14年1月、会員約80人で推進組織「松浦体験型旅行協議会」を発足し、全国へ向け営業活動を開始しました。

動き出した

松浦体験型旅行

平成15年5月、初めての修学旅行生として高校生100人を青島に受け入れました。この青島での受け入れが大変好評だったことにより、その秋には17年度春



の予約が殺到しました。その後も人材育成などの受け入れ体制を充実させ、年々受け入れ人員は増加しています。

現在市内では、青島体験振興会、上志佐体験型振興

会、田代地区グリーン・ツーリズム研究会、星鹿半島体験振興会、今福体験振興会、鷹島体験振興会、福島体験振興会の7団体が受け入れを行っています。

受け入れ人数の推移

近年、日本各地の中学校や高校が体験型旅行に興味を示し、修学旅行に体験型旅行を取り入れるようになりました。

本市の体験型旅行受け入れは、受け入れを始めた平成15年度は約1,000人でしたが、年々増え、今年度は約15,000人を受け入れる予定です。

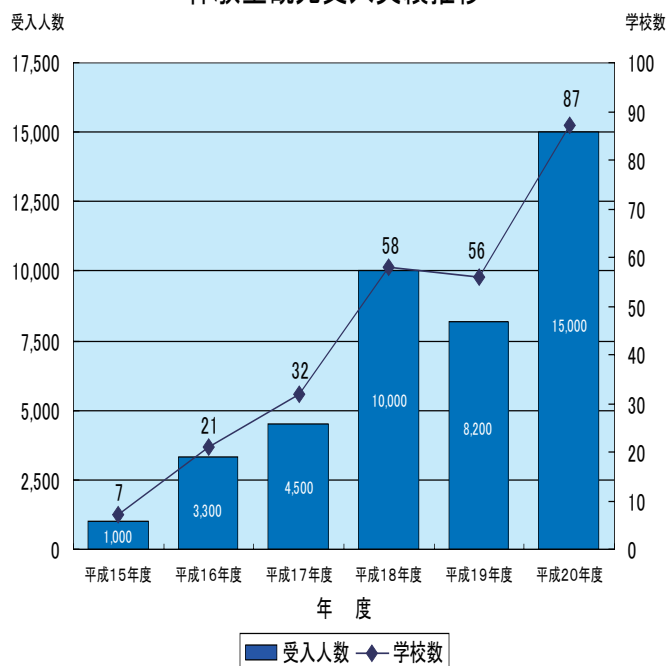
本市を訪れる修学旅行生は関東・関西方面からが多く、

学校によっては、翌年度以降も訪れるリピーターも少なくありません。

「オーライ！ニッポン大賞」グランプリ受賞

民泊受け入れ先やインストラクターなど地域の努力により、本市の体験型旅行は全国から注目を浴びてきました。その結果、平成19年3月に松浦体験型旅行協議会は、NPO法人体験観光ネットワーク松浦党とともに「オーライ！ニッポン大

体験型観光受入実績推移



賞」のグランプリを受賞しました。

「体験型教育旅行の先進事例であり、地域住民に無理のない形で活動が組み立てられていて、今後の展開が大いに期待される」などの高い評価を得ての受賞となりました。

「ほんもの体験日本一のまちづくり」宣言

市は、平成18年度に受け入れ人数10,000人を突破したことや、「オーライ！ニッポン大賞」でグランプリを受賞したことなどを受けて、平成19年9月20日にほんもの体験日本一のまちづくり宣言をしました。宣言を通じて体験型旅行事業への市民意識を高め、官民一体で取り組んでいくこととしたものです。

松浦市ほんもの体験日本一のまちづくり宣言

松浦市民は、豊かな自然の中で多様な生業を営みながら築いてきた独自の文化を大切に守り、貴重な財産として後世に引き継がなければなりません。

私たちは、体験交流で松浦市を訪れた人々に、ありのままの「ほんもの」の地域文化に触れる機会を提供することで、食べる喜び、心が通じ合う喜び、自然に囲まれて働きたいと願っています。

私たち松浦市民は、誇りを持ってこれらの地域文化を提供し、体験交流を新たな産業として育て、魅力あるまちづくりをすすめるために、「ここに「ほんもの体験日本一のまちづくり」を宣言します。」

(平成19年9月20日告示)



交流を通して得られるもの



4月22日から今年度の春季体験型旅行の受け入れが始まりました。

6月11日、12日には、横浜市立奈良中学校の修学旅行生（306人）が松浦市を訪れました。ここでは、田代地区と上志佐地区での体験の様子を紹介します。

出会い

6月11日午後6時ごろ、奈良中学校の受け入れ地区の一つである田代営農センターで対面式が行われ、奈良中学校の修学旅行生と田代地区の民泊受け入れ家族が初めて顔を合わせました。

「対面式での子どもたちの表情は堅いでしょう。でも、明日民泊と体験を終えた子どもたちの表情を見てください。まったく違った表情になっていきますから」と田代地区グリーン・ツーリズム研究会会長の岩木保徳さん。

これから奈良中3年生の生徒と地域の人々との深い交流が始まります。



民泊体験

民泊体験では、修学旅行生もお客さまではなく、家族の一員として迎え、料理など家事全般を行います。

生徒たちは、民泊先の家族全員と楽しく会話をしながら食事をし、交流を深めました。



地域と自分を
元気にしてくれる

民泊受入
田中和枝さん

（御厨・板橋、67）

自分も磨け、地域の発展にもつながると受け入れを始め、今年で5年目になります。私の家では、年間約70人を受け入れています。子どもたちは大変かわいく、いつも家族の一員として接していますよ。

地域の人が助け合いながら、楽しくやりがいをもって受け入れをしています。体験型旅行は、受け入れ地域と自分を元気にしてくれますね。



民泊体験者

写真前列左から住吉秀太君、杉安亮哉君
後列左から鶴田佳輔君、宮澤修人君

民泊先の家族はとても親切で親しみやすかったです。人の優しさに触れ、もう一つ家族ができたよううでうれしかったです。

畑で採ってきた野菜がみずみずしくて、これが野菜の本物の味だと感激しました。機会があれば、ぜひまた来たいです。

もう一つの家族が
できたよう

体験

体験プログラムは、漁業体験15種、農林体験19種、味覚体験25種、自然・歴史体験11種、アウトドア体験6種、伝統・工芸・文化・平和体験ほか14種の合計90種類があります。

その豊富な体験メニューの中から奈良中学校修学旅行生は、ちゃんぽん作り、そば打ち、いかだ作り、たこ漁など16種類の体験をしました。その中から、和牛農家体験とよもぎもち作り体験の様子を紹介します。

体験その1

和牛農家体験

インストラクターの吉田良三さん宅では和牛農家体験が行われ、男女8人が体験をしました。



日本で育てられている牛の種類や頭数、和牛がどのように育てられて、どのように肉にされていくのか、流通の流れなど詳しい説明を受けてから生徒たちの体験が始まりました。

まず生徒たちは、インストラクターが準備した帽子、長ぐつ、軍手を着用しました。生徒たちが汚れるのを防ぐとともに、外部から牛たちへの感染症などを予防しているのです。

体験では、牛たちに干した牧草や飼料などを食べさせる仕事から、牛の毛づくろい、排泄したフンの片付け、寝床を完成させるまで和牛農家の基本的な牛の世話を行いました。

牛の毛づくろいでは、牛が興奮して暴れないように片方の手は牛に触れ、スキンシップを図りながらブラッシングをする姿が見られ、牛のフンの片付けでは、最初は臭いに戸惑っていた生徒たちが熱心に片付ける姿が見られました。

和牛農家体験では、ありのままの農家の生活を伝える



ていくことで、インストラクター自身も自分の仕事の大切さを再認識し、毎日の仕事にやりがいを見出しています。また、体験は、生徒たちに生き物を育てることの難しさや大変さを伝え、食べ物を大切にする心を育てる「食育」の役割も担っているのです。



インストラクター
りょうぞう
吉田良三さん
(志佐・長野、69)

食べ物に感謝する人になってほしい

平成17年から受入れを始めて今年で4年目になります。体験に来る子どもたちはとても素直で、牛のフンの世話など嫌な仕事も熱心に頑張ってくれるのでうれしいです。生産者が安全・安心に心掛け、苦勞して牛を育てている現場を子どもたちに理解してもらえらることにやりがいを感じています。牛肉などを食べるとき、生産者などの努力があることを考え、食べ物に対する感謝の気持ちを感じる人になってほしいですね。

また、民泊体験の中では、核家族が多い世の中で大家族の良さを感じたり、このような自然の中で暮らしたいと感じたりするなど、これまでになく感動を得ることで心の成長につながってくればいいですね。

たくさんのお出合いがあり、笑顔で帰っていく子どもたちの顔を見ると、頑張って続けていきたいと感じるんですよ。



体験を終えて

写真左から
りさ
渡邊理佐さん、まい
大塚麻衣さん
彩代さん、中川うららさん

牛を見ることは初めてではありませんでした。たが、たくさん草などを食べるし、フンの世話などもしないといけないので育てていくのは大変だなあと感じました。

牛の命が人の命に代わるのだというインストラクターの話が印象に残りました。これから牛肉などを食べるときは、農家など育てる人の元から食卓へ届くまでに、たくさんの人たちの苦勞があるということも考えられると思います。

今回の体験で得たことを、これからの人生に生かしていきたいです。

体験その2

よもぎもち作り体験

板橋公民館には、12人の生徒が集まりました。

まず、全員手を洗います。味覚体験ということもあり、衛生面には特に気を使います。

体験は、ヨモギをちぎることから始まり、昔ながらの臼と杵でヨモギを混ぜて



もちをつき、ついたもちに餡をつめるまでの作業をします。

この日、ヨモギはあらかじめインストラクターの方で採ってきてありましたが、実際生えているヨモギを見たことがないという生徒のために、インストラクターの山口さんが外に出て説明を行うという場面も見られました。

もちつきでは、初めて杵を持つという生徒が多く、最初はなかなか思うようにいかないようでしたが、インストラクターの優しく分かりやすい指導で、もちがヨモギ色になるころには力強くもちがつけるようになっていました。



自分たちの手で作ったよもぎもちのおいしさは格別です。生徒たちは、「おいしい。自分の家を持って帰って家族に食べさせたい」と言っていました。衛生管理上持つて帰ることができ



ないことを聞くと、残念そうにしていました。

スーパールに行けばすぐ買えるよもぎもち。よもぎもちに限らず味覚体験では、スーパールでは買うことのできない心と心のふれあいを得ることができます。

体験が始まったばかりの堅い表情は、時間とともに笑顔がこぼれ出し、生徒とインストラクターの間には楽しい会話が弾み、心と心のつながりも生まれました。



体が続く限り 続けていきたい

インストラクター

写真前列左から

大川内チカ子さん

森山スマ子さん

後列左から

田中和枝さん

山口百合子さん

今日は4人でしたが、いつもは田中千州子^{ちずこ}さんも一緒に5人で助け合いながらインストラクターをしています。ちゃんぽん、押し寿司、かから団子、よもぎもち…何にでも対応します。毎回、持ち寄った季節の花を挿して迎えたり、自分たちも飾らずに接するようにはしたりして、子どもたちが気持ちよく体験できるよう努めています。体験に来る子どもたちはみんなとてもかわいくて、自分の子どもや孫と思って接しています。私たちも子どもたちから元気をもらっています。体が続く限り続けていきたいですね。



体験を終えて

写真前列右から

秋葉えりかさん

塩田麻貴さん

石川英莉果さん

速國沙也果さん

後列右から

平佑美さん

福山遥香さん



自分たちで作ったよもぎもちらは、スーパードット買った物よりもモチモチしてやわらかくて、とてもおいしかったです。杵が重く、思うようにもちがつけなくて大変でしたが、楽しく体験することができました。

お別れ

1泊2日の体験が終わり、別れの時です。離村式が行われる田代営農センター駐車場では、あちらこちらで民泊先の家族やインストラクターと生徒が別れを惜しむ場面が見られました。

実質1日という短い時間の中で、受け入れ家族やインストラクターと奈良中学校の修学旅行生の関係はぐっと近いものになっていました。



「民泊と体験を終えた子どもたちの表情を見てください。まったく違った表情になっていますから」。対面式での田代地区グリーン・ツーリズム研究会会長岩木保徳さんの言葉どおり、体験を終えた生徒たちの表情は生き生きとし、活力に満ちていました。そこには、自分たちだけで見ず知らずの人と心が通じ合い信頼関係を築けたことへの大きな自信と深い感動がありました。

そして、松浦にもう一つの家族、もう一つのふるさとができたことへの喜びも見えました。

インストラクターや民泊受け入れ家族も、家族が増えたことの喜びを胸に、「またいつでも遊びにおいでね」「待つとるよ」と生徒たちに声を掛けていました。

それぞれ忘れられない思い出を胸に、生徒たちは帰路につき、インストラクターや受け入れ家族の人たちは、生徒たちを乗せたバスが見えなくなるまで手を振っていました。



未来へとつながる体験型旅行



体験型旅行は、実際に体験した2、3日で終わりではありません。松浦でできた家族との交流がこの先ずっと続いていき、同じ学校が再び訪れたり、体験した生徒が再び松浦を訪れたりするなど未来へとつながる可能性を秘めているのです。

その後の交流

松浦市での体験を終えて帰った生徒たちから、民泊先やインスタラクターあてに度々手紙が送られてきます。生徒の家族の手紙には「日常会話も少なくなっていた子どもから明るく話しかけてくれるようになった」と書いてあるなど、親子の会話が aumentato と聞くことも少なくありません。

また、卒業後に再び民泊先を訪れる子どもたちもいます。手紙や電話のやりとりから交流が進み、互いにまた会いたいという気持ちがあるからでしょうか。

子どもたちが「ただいま」と言って玄関を入ってくる姿を見ることも、受け入れた家族が体験型旅行の受け

入れをして良かったと実感するときなのかもしれません。

誇りと喜び

民泊受け入れやインスタラクターをしている人は、

体験型旅行にかかわること
で、自分たちが子どもたちの育成に役かっているという喜びを持ち、地域の魅力を再確認すると同時に、地域の発展に貢献しているという誇りを持つことができます。

「体験型旅行は、私にとつて生きがいです。いつまでも続けていきたい。私たちが地域を元気にしていくんです」と言った、民泊受け入れとインスタラクターをしている女性の顔は生き生きと輝いていました。

NPO法人

体験観光ネットワーク松浦党

理事長 松永功さん

(鷹島・阿翁、68)



素朴で文化的な観光地を目指します

おかげ様で本年度は約1万5千人の体験者を受け入れます。しかし、その多くが修学旅行生で5、6月に集中しており、受け入れ地区に過度の負担がかかっています。受け入れ数を増やしていくには、他の時期に一般団体や個人も受け入れ、1年を通じて集客する努力が必要です。そうすることで受け入れ者の所得増加につながり、地域の活力も増すことでしょう。

本事業の充実には、本団体も高度な判断を迅速に実行に移せる組織へと変革せざるを得ません。本地域も湯布院のような素朴で文化的な観光地を目指したいですね。

〇問合せ

松浦体験型旅行協議会

NPO法人体験観光ネットワーク松浦党

☎0956-27-9333



市役所からの お知らせ

「お盆前・お盆のごみ」と

「精霊船」の搬入受け入れ

(松浦・福島地域)

搬入場所 北松北部クリーンセン

ター (平戸市田平町)

〔一般家庭からの臨時的なごみ〕

日時 8月3日(日) 午前9時～正

午、午後1時～午後4時(有料)

※8月13日、14日、15日は平常どお

りです。

【精霊船】(一般ごみは受け入れません)

日時 8月15日(金) 午後7時～午

後11時、8月16日(土) 午前9時～

午前11時 ※無料(事前に地区ごと

に市に搬入許可申請を出してください

い) ※地区でまとめて搬入してく

ださい。搬入予定の地区は8月12日

(火) までに連絡してください。※

提灯・針金は取り外し、不燃物として

搬入してください。供え物は、可燃

物と不燃物に分別して搬入してくだ

さい。※お盆のごみ収集は「ごみ出

しカレンダー」の通りです。

問合せ先 市民生活課生活環境係、

福島支所市民課住民係

松浦市安全・安心まちづくり 推進大会「特別講演会」

本市では、犯罪被害者となりやす

く、援護を必要とする幼児、児童、生

徒、高齢者および障害者の安全の確

保に配慮した施策を推進しています。

中でも、子どもたちが健やかに育つ

ことができるような安全で安心でき

る環境づくりに力を注いでいます。

このたび、松浦市安全・安心まちづ

くり推進大会「特別講演会」を次の

通り開催します。

日時 8月28日(木) 午後1時～

場所 文化会館ゆめホール 講演

テーマ 子どもの安全教育を考える

対処的対応から教育的対応へ 講

師 清永賢二(日本女子大学人間社

会学部教授) 問合せ先 総務課

行政相談所

市役所や国、県などの機関が行っ

ている仕事について、意見や苦情、

要望などはありませんか。次の通り

行政相談所を開設しますので、気軽

にご相談ください。

日時 8月8日(金) 午前10時～午

後4時 場所 市役所別館多目的相

談室 行政相談委員(敬称略) 川

畑喜久雄 ☎ 0956-75-0724

青木サチ ☎ 0956-74-0456

問合せ先 総務課行政係

国民健康保険税が年金から天引きされている人へ ～申し出により口座振替による納付方法への変更が可能となります～

※納付書による納付方法への変更はできません。

今年4月から国民健康保険税が年金から天引きされている人、または今年10月から天引きされる予定の人(10月から天引きされるかどうかは、税務課までお問い合わせください)は、以下の要件をすべて満たす場合、本人からの申し出により、国民健康保険税を口座振替で納付することが可能となります。

なお、申し出をされる場合は、あらかじめ口座振替依頼書(税務課又は各金融機関にあります)を金融機関へ提出し、本人控えを窓口で提示する必要があります。また、以前から口座振替で納付している人は、現在でも利用できる口座であることを確認の上、申し出てください。

【要件】

①直近2年間に於いて、国民健康保険税を滞納することなく納めた人

②これからの国民健康保険税を口座振替により確実に納められる人

※申し出は平成20年8月20日(水)までにお願います。

○提出書類

・申し出書(市役所または各支所にあります)

○持参書類等

・国民健康保険被保険者証

・口座振替依頼書(本人控え)

※以前から口座振替による納付をしている人は口座番号が分かるもの

・印鑑

・過去2年以内に松浦市に転入した人は、転入前の市町村で納付していた国保税(料)の領収書または口座振替された通帳

※直近2年間の納付状況の確認ができないときは、申し出が認められない場合があります。

○提出先

本庁税務課、福島及び鷹島支所または各支所

上記期限までに申し出をした場合は、10月分の年金からの天引きは中止され、9月分から口座振替により納めてもらうようになります。

なお、上記期限を過ぎて申し出をした場合は、12月分以降の年金から国民健康保険税の天引きを中止することとなり、口座振替開始月も遅くなります。

○問合せ先 税務課市民税係

姉妹都市オーストラリア・マッカイ市への 松浦市民親善訪問団 参加者募集

「松浦市民親善訪問団」としてマッカイ市を訪問してみませんか。
この機会にぜひマッカイ市に対する理解と市民との親睦を深めてください。皆さんの参加をお待ちしております。

- 旅行期間 11月17日(月)～11月23日(日)の7日間(予定)
- 訪問地 ブリスベン、マッカイ(3泊)
ゴールドコースト(1泊)
- 参加費用 1人255,000円程度
(旅行経費約30万円の内、4万5千円程度を助成予定です)
※定員に満たない場合や燃料高騰のため、増額になる場合があります。

○募集人員 17人

○申込期限 8月29日(金)

○参加資格 市内在住で18歳以上(高校生は除く)の健康な人

○応募方法 詳しい募集要領を差し上げますので、協会事務局まで連絡してください。

○申込・問合せ先

松浦市国際親善協会事務局
(企画財政課内)



市民病院の医師を 紹介します (敬称略)

7月1日から市民病院に勤務している
医師を紹介します。



- 氏名(年齢) さかた やすひさ 坂田資尚(35歳)
- 専門科目 消化器内科
- 出身地 福岡県八女市
- 前任地 佐賀県立病院好生館
- 趣味・特技 テニス
- 松浦市の感想など

松浦市民の皆様の健康増進に微力ではありますが、尽力したいと思います。
よろしくお願いします。

『脳健康教室』学習者および学習サポーター募集 読み書き・計算で脳の健康維持・増進(認知症予防)を!

簡単な読み書き・計算を継続的に学習することで脳の前頭前野が活性化され、高齢者の認知症予防に効果があることが、研究により明らかになってきました。市ではその成果を踏まえ、昨年10月から「脳健康教室」を開催し、今年も9月から開催します。

教室の内容は、週1回(30分程度)学習サポーターの助言などを得ながら、教材を使ってごく簡単な読み書き・計算を学習するというものですので、気軽にご参加ください。

また、この教室で学習者に対して学習支援にあたるボランティアスタッフ「学習サポーター」を募集します。

	学習者	サポーター
対象者	市内居住の65歳以上の人(要介護認定を受けている人を除く)で、毎週1回の教室への参加と毎日10分程度の自宅学習が可能な人	おおむね65歳までの市民で、高齢者の心身の健康増進に理解のある人 ただし、事前に各1回ずつ行う研修会および学習者説明会に参加可能な人
定員	30人 ※超えた場合は抽選になります。	10人程度
日時	平成20年9月から平成21年2月までの毎週水曜日 午前9時30分から午前11時30分まで(学習者はそのうち30分程度)	
場所	松浦市老人福祉センター(万年青荘)	
費用または謝礼	費用:月額1,575円(教材費等)	謝礼:1回あたり1,000円
応募方法	受付期限内に下記申込先に申し込みをしてください。	
受付期限	8月20日(水)	
申込・問合せ先	健康ほけん課介護保険係 TEL 0956-72-1111(内線178)	

なお、福島地区は10月から開催予定です。詳細は市報9月号でお知らせします。



下水道の認可区域を拡大します

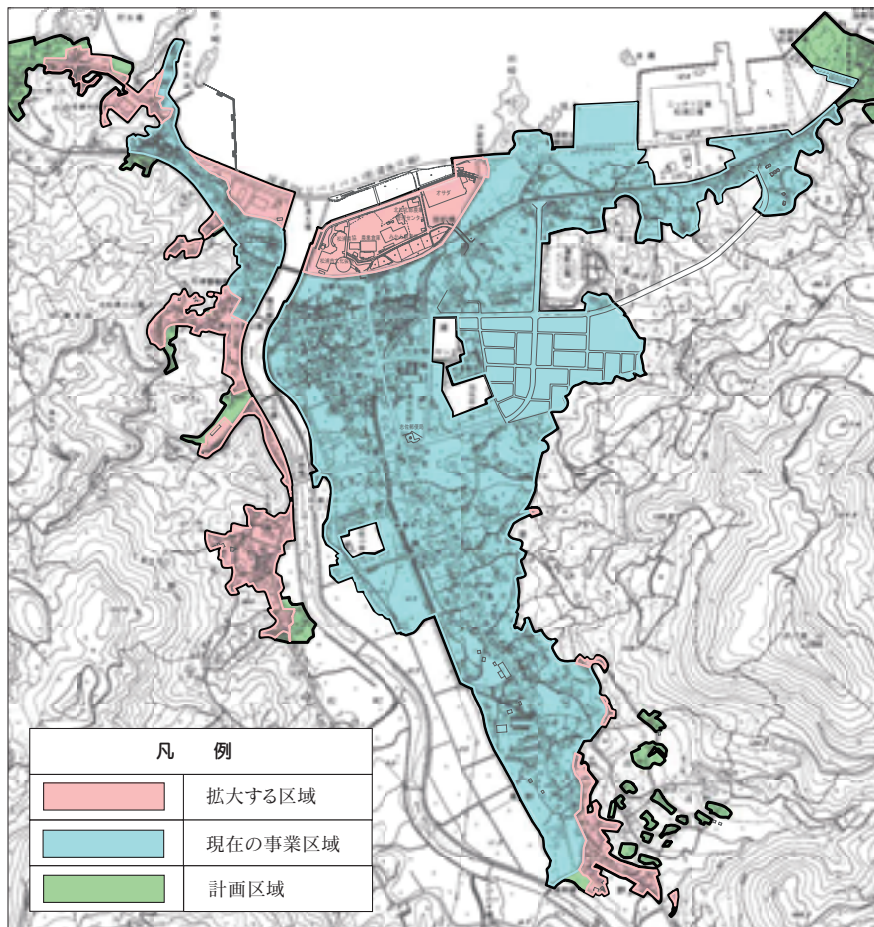
下水道事業については、現在の事業認可区域の大部分について整備を終えることができたため、第2期目の事業認可を申請し、事業区域を拡大します。

第2期事業認可の予定区域は、志佐町上高野、庄野、鹿ノ爪、立石川、向町上、蛭子崎東、蛭子崎中、岸浜地区の一部（下図の区域）で、約34haの面積を平成26年度までに整備する計画です。

当初の計画では、第2期事業として御厨町、志佐町、調川町、今福町の一部を整備するよう計画していましたが、市の財政事情や下水道を効率的に整備すること、また下水道事業の経営上の観点から、既存の認可区域の周辺部から順次整備区域を拡大するよう方針を変更しています。

今後は、8月中旬に認可を取得し、今年度から庄野地区の工事に着工する予定です。また、変更認可取得後に新たな認可区域について説明会を開きます（説明会の日程は別途お知らせします）。

○問合せ先 下水道課



げすいどう積立金 「貯めマス」のご案内

ご家庭の排水を下水道に接続するには、排水設備工事費などの負担が必要で、今年3月末に供用開始からの排水設備工事費の平均は72万円で、大きいところでは174万円となっています。

げすいどう積立金「貯めマス」は、下水道への接続に向けて積立を始めてもらい、下水道への接続時の負担を軽くしようというもので、これを利用して下水道へ接続された場合は、工事費、積立額、補助限度額のうち小さい額の3%を補助金として受けられる制度です。

いずれ必要となる資金です。できるだけ早いうちから積立を始めください。（貯めマスは金融機関などの窓口で受け付けています）

○問合せ先 下水道課

土地の公売価格を再度見直しました（継続募集）

○土地（保留地）の内訳

宅地：1画地

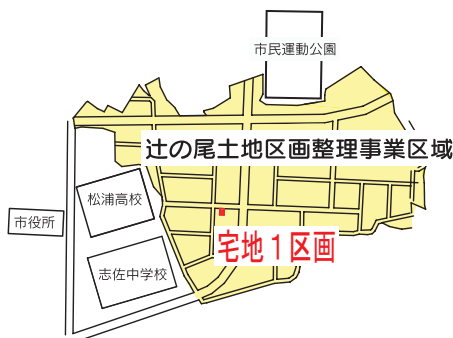
（面積：157.85平方メートル、価格：3,251,710円）

○申込方法・受付

都市計画課で8月1日から配布する申込書に必要事項を記入して提出してください。申込書の受付は8月11日から開始します（受付時間：土、日、祝日を除く午前9時から午後5時まで）。

○決定方法 申込順で決定します。

○申込・問合せ先 都市計画課都市計画係



松浦市定住奨励金制度を新設します

松浦市では、人口の流出を抑制し、定住を促進することで地域の活性化を図ろうと、平成20年2月に「松浦市定住促進基本計画」を策定し、定住促進のための施策を展開していくこととしています。その一つとして、平成20年10月1日から平成24年3月までの間に、市内において住宅を取得する新規転入者および市内在住者に定住奨励金を交付する新たな制度を創設しました。

○新規転入者に対する定住奨励金制度

*新規転入者^(注1)が、定住を目的に本市で住宅を取得した場合に奨励金を交付します。ただし、新築の場合は、市内建築業者^(注2)により建設された住宅に限ります。

(注1) 新規転入者とは、転入前3年以上にわたり他の市町村の住民基本台帳に記録されている人または他の市町村の外国人登録原票に登録されている人で、平成20年10月1日以後に定住の意思をもって本市に転入しようとする人をいいます。

(注2) 市内建築業者とは、市内に事務所を有する住宅建設関連事業者等で、建設業法(昭和24年法律第100号)に基づく許可を受けた法人、個人またはこれ以外の者で市長が認める者をいいます。

新規転入者	新 築	住宅取得経費の7%に相当する額または100万円のいずれか低い額に、世帯員1人あたり5万円を加算した額
	中古住宅取得	住宅取得経費(土地代を含む)の4%に相当する額または40万円のいずれか低い額に、世帯員1人あたり5万円を加算した額

○市内在住者に対する定住奨励金制度

平成20年9月30日以前から市内に居住している人が、定住を目的として新たに住宅を取得した場合に定住奨励金を交付します。ただし、新築の場合は、市内建築業者により建設された住宅に限ります。また、この制度は、市内に持ち家のある人の建替え、増築は対象となりません。

市内在住者	新 築	住宅取得経費の4%に相当する額または60万円のいずれか低い額。世帯員加算はありません。
	中古住宅取得	住宅取得経費(土地代を含む)の3%に相当する額または30万円のいずれか低い額。世帯員加算はありません。

○定住奨励金 申請から受け取りまでの流れ

1. 建築業者等との契約 (H20.10.1以降)

2. 交付申請書の提出

(添付する書類)

- ①住民票の写しまたは外国人登録原票記載事項証明書
- ②住宅取得経費を明らかにできる書類(売買契約書、工事請負契約書の写し)
- ③納税証明書または非課税証明書
- ④施工者が建築業法に基づく許可を受けた者であることを証明する書類 など

交付決定通知

住宅の建設・購入

3. 入居・住民登録

4. 事業完了報告書の提出

(添付する書類)

- ①住民票の写しまたは外国人登録原票記載事項証明書
- ②取得した土地及び建物の登記事項証明書または建築基準法に基づく検査済証の写し
- ③住宅取得に要した経費が明らかにできる書類(領収書の写し等)

交付金額確定通知

5. 奨励金交付請求書の提出

奨励金の振り込み

6. 奨励金の受け取り

○問合せ先

松浦市企画財政課企画統計係
TEL: 0956-72-1111 (内線 315)
FAX: 0956-72-1115
E-mail: kizai@city-matsuura.jp



観光産業を核に、地域の活性化と雇用の創出を目指します。

平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト 20年度受講者募集！

松浦市、平戸市、商工会議所、観光協会などで構成する平戸・松浦地区観光人材育成協議会は「観光人材育成事業」を実施しています。全講座を通じて受講料は無料です。



■新郷土料理開発・地産地消推進人材育成コース

地域の素材を生かした新たな魅力ある名物料理の開発、地場産品を有効利用した地産地消のメニュー作りを学びます。

回目	時 間	場 所	講 師	概 要
1	8月27日(水) 午後2時～午後4時	生涯学習施設 きらきら21 ホール1、2	山並 辰己 (JALリゾート シーホークホテル 福岡総料理長)	「地域素材の活かし方」 地域素材を活用した料理開発に関する事や地域素材に着目した食の地域振興について学び、松浦の農水産物の活用方法について素材を選考します。
2	9月9日(火) 午後2時～午後5時	漁村体験学習 施設・調理室		「シーホーク料理人チームの提案メニュー」 1回目に提案いただいた素材を使い、いくつかの料理をご提案します。松浦の食材を活かした提案力・調理方法を学ぶ。共通メニュー、看板料理、オリジナル料理のヒントにすぐに役立つプロのご提案です。

■目玉商品・新みやげ品開発人材育成コース

地域の素材を生かした新たな魅力ある特産品の創出と、地域の活性化につながるコースです。

回目	時 間	場 所	講 師	概要
1	8月20日(水) 午後2時～午後5時	たびら活 性化施設 研修室1、2	森 吉弘 (森ゼミ、元NHK アナウンサー・プロ デューサー)	「お客様を動かす商品の表現術」 商品名、チラシ、商品紹介など他と違うものにした「ひとつしかないもの」を、お客様に理解してもらいたい。特徴・ウリ・こだわりを書いたり話したりして伝えるためのテクニックを伝授します。チラシづくりを通して楽しみながら学びます。
2	9月30日(火) 午後2時～午後4時	たびら活 性化施設 研修室1、2	山口ひろこ (イゴス環境色彩研 究所代表)	「色彩とブランド～色で売れる色で勝つ商品づくり～」 商品の売れ行きも色に左右されます。売れるモノづくりの現場では色を戦略的に扱う場面が増えました。勝てる色の戦略に欠かせない条件とは？事例を挙げながら、色の持つ潜在力とその活かし方を伝授します。
3	10月21日(火) 午後2時～午後4時	たびら活 性化施設 研修室1、2	村上 隆英 (株式会社ジーコム 代表取締役社長)	「売上げを伸ばすビジネスプランの作り方」 会社を伸ばすため、個人の売上げを伸ばすために必要な、マーケティングに基づく事業計画指針づくりについて、経営環境の変化に対応できる経営戦略やビジネスプランの作り方の基礎を学びます。
4	11月5日(水) 午後2時～午後4時	たびら活 性化施設 研修室1、2	横石 知二 (株式会社いんどり 代表取締役社長)	「つまものビジネスから学ぶ事」 若い人がすっぱりと抜けたお年寄りの町で、さしたる資源のない環境から年商2億5000万円の一大事業を立ち上げた「つまものビジネス」の仕掛け人による「儲かる仕掛け」の作り方についてのセミナーです。

■問合せ先 ※事業所、農家、漁家、商店などどなたでも参加可能ですが、事前の申し込みが必要です。

平戸・松浦地区観光人材育成協議会事務局（水産商工観光課内）

Eメール kankou-jinzai@city-matsuura.jp

ホームページ <http://www.city.hirado.nagasaki.jp/jinzai/>

第3回「松浦市民体育大会」に参加しませんか！

第3回「松浦市民体育大会」を開催します。各競技の出場希望者は次の申込先に申し込んでください。

【第3回松浦市民体育大会総合開会式】

○日 時 平成20年9月7日（日）午前8時30分～午前9時

○場 所 松浦市文化会館ふれあいホール

軟式野球		卓 球	
日時	9月28日（日）・10月5日（日）9:00～	日時	9月7日（日）9:30～
場所	市民運動公園・ニッチツ球場	場所	松浦スポーツセンター
連絡先	軟式野球連盟事務局 市役所総務課・松永秀樹	連絡先	卓球協会事務局 市役所福祉事務所・田代裕志
抽選日	9月17日（水）18:00～	申込締切	8月20日（水）
		部門	年齢別
バドミントン		ゲートボール	
日時	8月3日（日）9:30～	日時	9月12日（金）9:30～
場所	文化会館	場所	福島総合運動公園
連絡先	バドミントン協会事務局 川本明美 ☎ 0956 - 74 - 0313	連絡先	ゲートボール協会事務局 金子勝昭 ☎ 0956 - 74 - 0972
申込締切	7月25日（金）	申込締切	9月5日（金）
部門	6部門 男女A、B、Cクラス		
ソフトテニス		バスケットボール	
日時	中学の部＝9月7日（日）9:30～ 高校一般の部＝9月21日（日）9:00～	日時	中学男女＝10月4日（土）9:00～ ミニ男女、一般＝10月5日（日）9:00～
場所	市民運動公園	場所	松浦スポーツセンター
連絡先	ソフトテニス連盟事務局 国生賢吾 ☎ 0956 - 72 - 1865	連絡先	バスケットボール協会事務局 市役所総務課・嘉松正仁
申込締切	中学の部＝8月22日（金） 高校一般の部＝9月5日（金）	申込締切	9月10日（水）
部門	中学男女、高校男、一般男、高校一般女	部門	小学男女、中学男女、一般男女
バレーボール		ソフトボール	
日時	9月7日（日）9:30～	日時	10月1日（水）～11月3日（月）
場所	文化会館	場所	市民運動公園
連絡先	バレーボール協会事務局 市役所水産商工観光課・内野義	連絡先	ソフトボール協会事務局 市役所建設課・加椎大輔
申込締切	8月22日（金）	監督会議	9月1日（月）、10月6日（月）
部門	一般男子、一般女子、婦人	部門	一般F P、壮年S P、実年S P
剣 道		グラウンドゴルフ	
日時	9月7日（日）9:30～	日時	10月14日（火）8:20～
場所	市立武道館	場所	市民運動公園
連絡先	剣道協会事務局 吉野石油プロパン(株) 吉野徳衛 ☎ 0956 - 72 - 0066	連絡先	グラウンドゴルフ協会会長 池野泰三 ☎ 0956 - 75 - 0665
申込締切	8月29日（金）	申込締切	9月30日（火）
部門	年齢別		

○問合せ先 教育委員会生涯学習課



『松浦市民合唱団』 団員大募集

市民の皆さんで、市民合唱団をつくりませんか？このたび、「市民合唱団がない、ぜひとも設立してほしい！」という声を受け、市民合唱団の団員を大募集します。

市民合唱団に入って、いろいろな音楽祭と一緒に歌いましょう。女性だけでなく、男性もOKです。

募集要項 ①市内在住の高校生以上で歌が好きな人 ②会費：月額500円、1,000円の予定 ③練習日：月2回程度 ※指導者については、検討中です。 **団員募集(第一次)** 締め切り 8月29日(金) ※その後

も随時受け付けます。 **応募受付** 氏名、性別、住所、電話番号を電話でご連絡ください。 **協力団体** 松浦クワイア、コール御厨、コーラスあざれあ、蓬萊合歌団、松浦市文化協会 **申込・問合せ先** 教育委員会生涯学習課

みんなで黙とうを

原爆や戦争の犠牲となられた人たちの冥福を祈って、次の日時にサイレンを1分間吹鳴します。

黙とうをささげ、平和への誓いをあらたにしましょう。

○県民祈りの日

8月9日(土) 午前11時2分

○全国戦没者追悼式

8月15日(金) 正午

問合せ先 福祉事務所福祉総務係

質問に答えます

6月議会の傍聴アンケートで、御厨中の1年生から「西九州自動車道の概要や工期について教えてください」という質問がありましたので、回答します。

〈回答〉西九州自動車道は、九州北西部の地域経済の活性化に大きく役立つものです。

この路線は、福岡市を起点として唐津市、伊万里市、松浦市、江迎町、佐々町、佐世保市を経由して武雄市に至る延長約150kmの自動車専用道路です。松浦市から福岡に行く場合、全区間開通すると約1時間10分程度で行けるようになります。

松浦市区間の状況は、平成17年度に伊万里西インター(仮称)から松浦インター(仮称)区間のルートが決定し、おおむね10年後(平成27年度)の開通を目標に用地買収や工事が進められています。松浦インター(仮称)から佐々インター(仮称)区間は、現在、環境影響調査や地域の皆さんの意見を聞きながら、ルートの検討がなされている状況です。

松浦市長 友広 郁洋

今後も市政に関する提言をお待ちしております。

○問合せ先 総務課秘書広報係

海 区漁業調整委員会委員選挙人名簿登載申請

漁業法に基づき、毎年9月1日現在で標記名簿が調整されます。

次に該当する人は、9月5日までに「選挙人名簿登載申請書」を提出してください。

申請が必要な人 年間90日以上 ①漁船を使用して漁業を営む人 ②漁船に乗って働く人 ③水産動植物の採取に従事している人 ④魚類などの養殖を行っている人 ①～④に該当する人で、昭和63年12月6日以前に生まれた人 **申請期限** 9月5日

認定司法書士無料相談会

法務大臣の認定を受けた認定司法書士が身近な法律家として市民に貢献するため、次の通り相談会を実施します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

日時 8月14日(木) 午後1時～4時30分

場所 市役所別館多目的相談室

主催 長崎県司法書士会 予約・問合せ先 総務課行政係

エコキュートが救世主



増え続ける家計の出費を早く
なんとかしたいですね…

グッドハウスに任せて下さい！家庭の光熱費を
劇的に安くするお手伝いをさせていただきますよ！

お家に関するご相談は

tel.0956-72-3718

株式会社グッド・ハウス

〒859-4502 長崎県松浦市志佐町里免315-4

good@alpha.ocn.ne.jp



平成20年度

松浦市奨学生（後期）募集

資格 ①本市に住所を有する人の子弟など ②高等学校以上の学校に在学中で、学校長（学長）から推薦された人 ③経済的に困っている人 貸与金額（月額） ④高等学校：1万5千円 大学・専修学校：3万円 申込期限 ⑤9月26日（金）＊他の奨学金、就学一時金との重複貸与はできません。 申込・問合せ先 ⑥教育委員会庶務課

コミュニティ助成事業

《宝くじ普及広報事業》

財団法人 自治総合センターは宝くじ収入を財源に、コミュニティの健全な発展を図るため、コミュニティ活動に対し助成を行っています。

【助成対象団体】

市町村・コミュニティ組織（自治会・町内会など） またはコミュニティ組織の連合体・自主防災組織

【助成事業の種類】

1. 一般コミュニティ助成事業

対象 ①コミュニティ活動に直接必要な施設または設備の整備に関する事業 助成額 ②100万円～250万円 事業例 ③芝刈機・太鼓・視聴覚機器・コミュニティ掲示板の購入など

2. 緑化推進コミュニティ助成事業

対象 ①コミュニティ組織による植

樹・植栽またはその維持管理を中心とした緑化推進活動 助成額 ②50万円～200万円 事業例 ③広場・公園等の植樹・植栽、花壇などの造成、苗木・種子の購入など

3. 自主防災組織育成事業

対象 ①自主防災組織、婦人防火クラブまたはその連合体が行う災害の防止活動および軽減活動に直接資するもの 助成額 ②30万円～200万円 事業例 ③電池メガホン、可搬式動力ポンプ、救命ボート、簡易資機材倉庫など

4. コミュニティセンター助成事業

対象 ①住民の需要の実態に応じた機能を有する多目的な総合施設（自治会集会所など）の建設整備 助成額 ②対象となる総事業費の5分の3以

内に相当する額。ただし、1、500万円が限度 事業例 ③談話室、視聴覚室、レクリエーションルームなど

5. 青少年健全育成助成事業

対象 ①主として小・中学生が参加するソフト事業（親子参加型を優先） 助成額 ②30万円～100万円 事業例 ③親子で参加するオリエンテーリング、各種レクリエーション大会など

○申請について

募集時期 ④毎年10月ごろに翌年度分を募集 申請窓口 ⑤企画財政課

*詳しくは（財）自治総合センターホームページ内コミュニティ助成事業実施要綱のページをご覧ください。か、企画財政課へお問い合わせください。

麻しん（はしか）・風しん混合（MR）の予防接種はお済みですか？

対象者にはすでに通知をしていましたが、接種は済みましたか？

対象時期以外は自費で接種してもらうことになります。まだ済んでいない人は、夏休みの期間を利用して、早めに済ませましょう。



【対象期間】

1期 1～2歳未満

2期 就学前1年間

3期 中学1年生

4期 高校3年生

平成20年から5年間の措置

○問合せ先 子育て・こども課

スピード車検

105項目の安心点検!!

軽自動車	小型自動車	中型自動車	大型自動車
車検基本料	9,800円		
登録代行料	無 料!!		
法定費用	28,880円	48,770円	61,370円
合計	39,170円	59,060円	71,660円

登録代行料 **0円**

当店で車を購入された方はガソリンが安くなる!!

車購入 **3円/ℓ引** + 車検予約 **3円/ℓ引** = 合計で **6円/ℓ引**

オイル交換 **永久無料**

ピットブラザーズ

204号線・平戸大橋すぐそば
平戸市田平町小手田免1255-1

（有）ニシ・マイカーセンター

営業時間／午前9時～午後8時
年中無休

☎0120-751-741

もっと月々のケータイ代を安くしたい方
ご相談下さい。

料金診断 実施中!!

他社、他店をご利用中の方も
お気軽にどうぞ

松浦バイパス だるまる 至伊万里
松浦消防署 松浦市役所 松浦高校
GS レストラン中橋

auショップ松浦

TEL0956-72-4142

営業時間10:00～19:00



その他のお知らせ

法律相談センター

長崎県弁護士会による法律相談センターを次の通り開設します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

日時 8月22日（金）午後1時～午後4時
場所 文化会館 料金 30分ごとに5,000円 予約・問合せ先 長崎県弁護士会佐世保支部 ☎ 0956-22-9404

無料調停相談会

どなたでもお気軽にお越しください。

主催 財団法人日本調停協会連合会
後援 最高裁判所 日時 10月10日（金）午前10時～午後8時 場所 アールカスSASEBO 相談内容 金銭貸借・土地建物・損害賠償・近隣関係・職場関係・夫婦親子・相続・戸籍・その他諸問題について 相談担当者 佐世保調停協会所属の民事および家事調停委員（弁護士、司法書士など専門的な知識を有する者が多数参加します） 問合せ先 長崎地方裁判所佐世保支部庶務課 ☎ 0956-22-9175

ぎぎが浜海水浴場を清掃

電源開発と九州電力の2発電所が6月16日、「環境月間」の一環として、ぎぎが浜海水浴場の清掃を行いました。

この日は、あいにくの曇り空でしたが発電所の協力会社を含め約60人が参加。参加者たちは、海水浴場の流木や空き缶拾いなどを、約1時間かけて行いました。



英会話教室の生徒を募集します

- 講師 フィオナ・マニング先生
- 対象 市内在住の18歳以上の人（高校生を除く）
- 日時 平成20年9月9日～平成21年6月23日の火曜日、午後7時～午後8時30分（30回程度）
- 場所 きらきら21
- 定員 30人
- 受講料 一般8,000円（テキスト代別）
会員6,000円（ ）
- 申込方法 往復はがき（1人に1枚）に、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入の上、松浦市国際親善協会事務局に送付してください。
- 申込受付期間 8月4日（月）～15日（金）
※定員になり次第締め切ります。
- 申込・問合せ先
〒859-4598（住所不要）
松浦市国際親善協会事務局
（企画財政課内）



フィオナ・マニング先生

幸せ、それは健康

医療法人 陽 迎 堂

武 部 病 院

TEL (0956) 74-0007

松浦市今福町北免2091番地1

外 科・内 科・整形外科
脳神経外科・リハビリテーション科

通所リハビリテーション（デイ・ケア）・グループホーム たけべ



お魚食べて 健康家族



日本遠洋旋網漁業協同組合

TEL 0956-72-5170・FAX 0956-72-3881

西日本魚市株式会社

TEL 0956-72-0147・FAX 0956-72-1127

〒859-4536 長崎県松浦市調川町下免695

北松浦地域産業保健センターをご存知ですか？

当センターでは従業員数50人未満の事業場（小規模事業場）の事業主や従業員に無料で下記の産業保健サービスを行っています。

【健康相談窓口】（北松浦医師会館内）
健康診断の結果や病気全般・メンタルヘルスについての相談を受け付けます。

・一般健康相談：毎月第3・第4週の
木曜日 午後1時30分～午後4時
・過重労働相談：偶数月第2週の木
曜日 午後1時30分～午後4時

【個別訪問産業保健指導】 医師等が
事業場を訪問して産業保健指導サ
ービスを行います。生活習慣病・安全
衛生などに関する話をします。

【情報の提供】 産業保健に関する資
料の提供や、DVDなどの貸し出し
を行います。

【北松浦地域産業保健センターの管
轄地域】 松浦市・平戸市・佐々町・
江迎町・鹿町町

「明るい職場の基本は、まず、健康か
らです」気軽に相談ください。

問合せ先 北松浦地域産業保健セン
ター（北松浦医師会館内） ☎095
6・72・5511 FAX0956・72・
1117

全て無料で就職活動への支援を行っています！

長崎県が設置した「長崎県フレッ
シュワーク佐世保（34歳以下）」と
「長崎県再就職支援センター佐世保
（おおむね35歳以上）」では、個別カウ
ンセリングの実施、各種セミナーの
開催、就職情報の提供など、さまざ
まな就職支援を行っています。気軽
にご利用ください。

場所 佐世保プライムビル2階（ア
ルカスSASEBO前） 開館時間
月～金曜日 午前10時～午後6時
※土・日・祝日は休館日です。

また、松浦市に「離職者相談窓口」
を設置しています。当相談窓口は予
約制となっていますので、まずは長
崎県再就職支援センター佐世保まで
お問い合わせください。

相談日 第1、第3水曜日 時間 午
前10時～午後4時 場所 市役所
別館多目的相談室 支援内容 就職
支援セミナー（毎月第3水曜日の午
前10時～正午）・個別カウンセリング
・情報提供

問合せ先 長崎県フレッシュワーク
佐世保 ☎0956・24・7431
長崎県再就職支援センター佐世保
☎0956・24・1090

自衛官を募集します

募集種目	資格	受付期限	試験日
2等陸・海・空士	男子	随時受付	受付時にお知らせします
	女子	8月1日（金）～9月10日（水）	9月28日（日）、29日（月）
一般曹候補生 （陸・海・空、男女）	18歳以上 27歳未満の人	8月1日（金）～9月10日（水）	一次：9月20日（土）
航空学生	高卒（見込含む）以上	8月1日（金）～9月10日（水）	一次：9月23日（火）
防大	21歳未満の人	9月8日（月）～9月30日（火）	一次：11月15日（土）、16日（日）
防医大		9月8日（月）～9月30日（火）	一次：11月1日（土）、2日（日）
看護学生	高卒（見込含む）以上 24歳未満の人	9月8日（月）～9月30日（火）	一次：10月25日（土）

○問合せ先 自衛隊長崎地方協力本部 ☎095-826-8844

夏の旺盛な電力需要に対応するため、毎年6月1日～9月30日を
「夏期重負荷期電力安定供給強化期間」として、
 JPグループ挙げて松浦火力発電所の安定運転に取り組んでいます。
「電力安定供給のために!!」



電源開発(株)・(株)ジェイパック・(株)JPビジネスサービス・開発電子技術(株)・西九州共同港湾(株)



無料！インターネット

セミナー（各定員10名）

インターネットをまだ利用していない人やインターネットに興味がある人に、NTT西日本の光回線を使ってインターネットの便利な利用方法について、体験していただくセミナーです。

どなたでも参加できますので、気軽にお申し込みください。

【インターネット基礎講座】

日時 9月21日（日）午前9時～正午

内容 Ⅱ パソコンの基本操作（マウス操作、ウィンドウの操作、キーボード操作、文字入力など）、インターネット基礎（ホームページの操作：カテゴリ検索・キーワード検索、動画サイトの視聴、フリーソフトのダウンロード）

【メール基礎講座】

日時 9月21日（日）午後1時30分～午後4時30分

内容 Ⅱ メール基礎的な使い方（メールの作成・受信、メールの返信・転送）、メールの活用（アドレス帳への登録・活用、添付ファイルの作成、デジタル写真の送付・PCへの保存、受信メールの分類）

会場 Ⅱ 松浦商工会議所 会議室

主催 Ⅱ 松浦商工会議所

申込・問合せ先 Ⅱ 松浦商工会議所（担当 守山） ☎ 0956-72-2151

九州電力からのお知らせ

●台風による停電の際は

台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。

停電情報は下記のホームページでもご確認ください。

※台風など非常災害以外の突発的な停電に際しましては、停電情報はご確認くださいませ。

携帯電話版ホームページ

<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp>

携帯メールサービス

台風による停電時には、ご登録をいただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。

「御厨ぶどうまつり」 展示即売会

毎年恒例の御厨ぶどうまつりが開かれ、巨峰や安芸クイーンの即売が行われます。

宅配コーナーも設けられますので、ぜひお立ち寄りください。

○日時

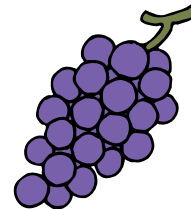
8月 9日（土）午前9時～午後4時

8月 10日（日）午前9時～午後4時

○会場 A コープみくりや前広場

○問合せ先

ながさき西海農協
松浦営農経済センター
☎ 0956-72-1144



市民の伝言板

第58回志佐町納涼花火大会

志佐川下流で、わらなどで作った精霊船が、1,500発の花火とともに幻想的に辺りを彩ります。

○日時 8月15日（金）※雨天時17日（日）に延期

○場所 鹿ノ爪橋（志佐川下流）

・大抽選会 午後7時～（午後6時～受付）

・精霊船道行き 午後8時 駅前出発

・精霊船流し 午後8時30分～

・納涼花火大会 午後8時45分～

○主催 志佐商工振興会

○問合せ先 松浦商工会議所 ☎ 0956-72-2151



ソフトボールで 全国大会へ！

志佐少年ソフトクラブ



志佐少年ソフトクラブが、6月7日～8日に佐世保市で開催された「第22回全日本小学生ソフトボール長崎県大会」で3位に入賞し、全国大会への出場が決定しました。

同大会には、県内から18チームが参加。同クラブが3位に入賞したため県代表に推薦され、8月8日から11日にかけて滋賀県で開催される全国大会（全日本ソフトボール連盟主催）に出場することとなったものです。

同クラブは、小学2年生から6年生の15人の児童で構成され、太田雄三監督とコーチの別府哲也さん、武尾和彦さんの指導を受けています。練習は毎週6回午後4時30分から午後7時ごろまで、志佐小グラウンドで行っており、今は全国大会に向けて汗を流しています。

志佐小6年の太田雄三大将は「監督・コーチの指導をしっかりと聞いて、皆で一生懸命練習をして強くなりたいです。また、市や県の大会では常に上位を目指します。僕たちのチームはよく元気が足りないと言われるので、全国大会では、元気を出して、チーム一丸となって1勝を目指して精一杯頑張ります」と話し、太田雄三監督は、「今のチームは、バッテリーを中心に勝負強さを持っていて、ミラクル的なパワーを発揮できるチームです。監督の指導方針としては、子どもたちに平等よりも競争心を身につけさせたいと考えています。また、松浦市のチームは他市では評価が低かったなので、悔しさを含めて子どもたちがプレッシャーに強くなるように指導してきました。子どもたちには、ソフトボールに限らず、小学校で終わりはなく、中学・高校になっても常に上を目指すように意識を高めていきたいです。チームがさらに盛り上がるように、もっと部員が入部してほしいですね」と話していました。

ねこの児童劇を鑑賞

平成 20 年度長崎県青少年劇場（県教育委員会、市教育委員会主催）が 6 月 25 日、松浦スポーツセンターで行われました。

県内の青少年に演劇や古典芸能などを鑑賞する機会を提供し、文化活動の振興を図ることを目的に公演されたものです。

この日は劇団たんぽぽが児童劇「100 万回生きたねこ」を熱演。100 万回生きた猫が一匹の猫との出会いによって「生きる」意味を見つけるというもの。参加した志佐小、上志佐小の児童、保護者など約 580 人はユーモアあり感動ありの公演に魅了されていました。



救命救急の手法を学ぶ

長崎県理容生活衛生同業組合松浦支部（金子^{ひでひさ}俣久支部長）は 6 月 30 日、松浦海のふるさと館横の漁村体験学習施設で救命救急講習会を開催しました。

同組合には市内で理容店などを営む 43 店が加入。毎年定期的に技術講習会を開催していますが、今回は万一の場合に来客の安全を守るために救命救急講習を企画したものです。

この日参加した 23 人は、約 2 時間かけて松浦地区消防組合の職員から指導を受けながら、人工呼吸・心臓マッサージの方法や AED（自動体外式除細動器）の操作方法などを学びました。



西海短歌祭で各賞決まる

第 18 回西海短歌祭が 6 月 28 日、文化会館で開催されました。

県内を中心とした短歌愛好家で作る西海短歌連盟（山口礼子会長）が、会員同士で学習しながら親ほくを深め、地域の文学の発展につなげたいと開催しているものです。この日は、約 40 人の会員が参加。事前に寄せられた 55 首の作品から、互選賞や選者賞などの入選作品が決まり、互選賞・最優秀賞に大久保正基^{まさき}さん（御厨・木場）の「犬を曳くつもりが犬に曳かれゆく吾八十の朝の散策」が選ばれました。

まちの話題



市民に苗木を配布 —九州電力・電源開発—

九州電力松浦発電所（中西章夫所長）と電源開発松浦火力発電所（西山千里所長）が 6 月 17 日、中央公園で苗木を配布しました。

環境月間の取り組みとして行われたもので、配られた苗木はハナヤナギ、ベンジャミン、ニューギニアインパチエンスなど 6 種類、合計 400 鉢。法被姿の所員など約 20 人が、配布開始を並んで待っていた多くの市民や公園近くを通行していた買い物客などに配布を始めると、苗木はあっという間になくなりました。





昔遊びや郷土料理に挑戦

上志佐小学校（田中輝久校長）の全校児童が7月6日、同校や上志佐コミュニティセンターで地域住民と昔遊びや押し寿司作りなどを通して触れ合いました。

同校では、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の一環として「日曜参観」を実施。この日は、各学年に分かれて、竹とんぼ作りや、郷土料理作り、おもしろ科学実験などを、地域のお年寄りや専門家などを招いて行いました。

1、2年生は、地域のお年寄りの指導を受けながら、竹とんぼ作りに挑戦。出来上がった竹とんぼが高く飛ぶと「すごい、すごい」と喜んでいました。

東高生が苗木を寄贈

松浦東高（山口和秀校長）の生徒が7月8日、市役所に花の苗を寄贈し、市役所表玄関の花壇に苗を植えました。

寄贈したのはマリーゴールド、日々草、ヒマワリなど5種類の苗約500株。食品科学科と商業科の選択教科である生物活用の授業で育て、地域貢献活動の一環として植栽したものです。

この日は、食品科学科の3年生6人が花壇に花の苗を植えました。花は10月ごろまで楽しむことができます。



願い事かなうかな —福島郵便局で七夕祭り—

福島郵便局（森俊二局長）で7月3日、保育園児が七夕飾りを行いました。

同郵便局では、地域に根付いた明るい郵便局を目指して、この七夕の季節に毎年七夕飾りを行っています。

この日、飾り付けを行ったのは、ひかりヶ丘保育園（本庄圭子園長）と養源保育所（森静子所長）の園児たち。「おともだちとなかよくあそべますように」などの願い事を書いた短冊や飾りを、各保育所ごとに用意されたササの枝に結びつけていました。



箏の音色に魅了—七夕コンサート—

箏曲・松実会（古賀曜子^{てるこ}代表）演奏会〜箏・尺八・三絃の調べ〜七夕コンサートが7月6日、文化会館で開催されました。

同コンサートは、日本の伝統音楽であるお箏の普及を目的に毎年開催されています。

この日は、御厨地域を中心とした男声コーラス、御厨中の生徒、クラリネット奏者小田智子^{ともこ}さん、ピアノ奏者川口晶子^{あきこ}さんなどが発表。会場にはほぼ満席の約500人の観客が集まり、箏やクラリネットなど楽器の音色とコーラスのハーモニーに聴き入っていました。



不当要求防止を再確認

松浦魚市場不当要求行為等防止対策委員会（城島正彦委員長）結成1周年記念総会が7月15日、松浦シティホテルで開催されました。

同委員会が7月で結成1周年を迎えたことから開催されたもので、松浦魚市場協会の会員など約50人が参加しました。

会の中で松浦警察署岩田廣文署長は「住民・警察・企業・行政が手を取り合って日本で一番安全・安心な魚市場となり、その誇りと伝統を子どもや孫に伝えていってほしい」と話しました。

また、この日は飲酒運転追放宣言も行われ、城島委員長が宣言文を岩田署長に手渡しました。



おてや 落合の滝に橋完成

志佐町赤木免にある落合の滝の参道の橋が完成し、7月27日に落成式が行われました。

この橋は、弘法大師を祭った落合の洞窟への参道の橋で、2年前の大雨で崩壊していたものを今年の彼岸行事を前に建設業の団体「川西会」などのボランティアが仮設橋を設置。今回、市が鉄骨や生コンなどの材料を支給し、川西会などが施工したものです。赤木地区の市山時雄区長は「多くの人の協力で立派な橋が完成し、地区の彼岸行事などが安全に行えることをうれしく思います」と話していました。



今福の民話がミュージカルに

今福小学校（鴨川寛二校長）で7月14日、星鹿町出身の劇作家、岡部耕大さんにより今福に伝わる民話「丹後の人柱」のミュージカルの指導が行われました。

これは文化庁の「学校への芸術家派遣事業」で行われたもので、この日は岡部さんのほか4人のスタッフが生徒たちに歌や演技の指導を行いました。

この話は、殿様の命令で今福の海岸を埋め立てようとするが嵐で工事が進まず、人身御供を埋めて嵐を鎮めるといふ「人柱」地区の名前の由来とも言われる悲しい民話。岡部さんが民話をもとに脚本を制作し、脚本が出来上がった6月頃から今福小6年生46人と保護者などが11月7日の学習発表会での発表に向け総合的な学習の時間に練習を行っています。



五穀豊穡や無病息災を祈願し、 田ノ平浮立を奉納

志佐町田ノ平地区に古くから伝わる「田ノ平浮立」が7月15日、田ノ平祇園神社で奉納されました。

五穀豊穡や無病息災を祈願する伝統行事で、300年以上の伝統があり市の無形文化財に指定されています。

この日は、田ノ平浮立保存会（久田榮信会長）の男衆が笛や鉦、太鼓を奏で、女衆があやとりや銭太鼓を手に踊りを披露。見物に訪れた地元住民や上志佐小学校の5、6年生から拍手が送られていました。

九電オープンデーの売上金を社協へ

九州電力松浦発電所（中西章夫所長、写真右）が7月10日、事業所オープンデーの売上金を松浦市社会福祉協議会（大畑安盛会長、写真左）に寄付しました。

同事業所は、市民に対する感謝の意と事業活動への理解促進を目的に毎年オープンデーを開催。焼きそばや関連会社で作っているお茶などを販売した売上金 278,600 円を、松浦市の福祉に活用してほしいと寄付したものです。

中西所長から寄付を受け取った大畑会長は「寄付の半分は青いプラスチック製のベンチ購入（昨年度は7台購入し市内のバス停や公園に設置）に使用し、残りの半分は地域の独居老人の食事サービスなど、地域福祉の推進に役立てます」と話していました。



パッションフルーツ生産農家が意見交換

市内でパッションフルーツを生産している農家など15人が6月30日、市役所を訪れ、市長や農林課長などと意見交換会を開きました。

パッションフルーツは、南米の亜熱帯地域を原産とするトケイソウ科の果物。本市の気候ではビニールハウスで手軽に栽培でき、一株に200個以上の濃い赤紫色の甘酸っぱい実が実ります。

現在、15戸の農家で年間約6トンを生産。意見交換会を前に生産者たちがパッションフルーツを市長や議長に贈呈。会の中で生産者たちは「パッションフルーツの実が実るのを楽しみにして育てています。増産のために休作中のビニールハウスがあったらぜひパッションフルーツの作付けを勧めたいです」と話していました。



松浦出身の画家が絵画を寄贈

御厨町出身で、東京を拠点に中国・韓国などでも活躍する水彩画家酒井敦彦さん（水彩連盟委員、66歳）が6月25日、文化会館に水彩画2点を寄贈しました。

寄贈された絵画は「7月21日から30日の間」と題した抽象的な水彩画2点で、縦横2mのひし形。木枠にダンボールをはめ込んだキャンバスにダンボールを立体的に貼り合わせて描かれています。

酒井さんは「文化会館に展示し、市民の芸術活動の一助として活用してください」と話していました。

水彩画は、平成7年の文化会館開館記念に酒井さんから寄贈を受けた2点とともに文化会館ロビーに展示され、市民の目を楽しませています。



松浦メロン「爽潤果」

生産者でつくる松浦メロン部会（末武茂善部会長、33戸）の会員など6人が6月30日、市役所を訪れ、市内で生産するアールスメロンの新ブランド「爽潤果」の披露を兼ね市長に贈呈しました。

「爽潤果」は、JAながさき西海と市が「平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト」と協力して開発した新ブランド。糖度15度以上で1.4kg以上の高品質アールスメロンだけの新しい規格で、市内の年間生産量約200トンの1割程度となる見込みです。

この「爽潤果」は松浦メロンのイメージチェンジと知名度アップを目指して、長崎市、福岡市の市場などへ贈答用として出荷されます。質のいいものは高く売れると農家の所得向上にも期待されています。



第25回松浦市陸上選手権大会

第25回松浦市陸上選手権大会が7月13日、松浦市民運動公園で開催されました。上位の結果は次の通りです（敬称略）。※青字は大会新記録。

【男子】

種目	別	1位	記録	2位	3位
100 [㍓]	小3	金子 剛己（今福）	17 秒 4	志水 冬樹（今福）	宮田 大地（調川）
	小4	久重路 怜（今福）	16 秒 3	山川 良太（大崎）	勝村 祐太（御厨）
	小5	北村 英毅（上志佐）	16 秒 1	牟田 奨太（志佐）	谷本 一弥（志佐）
	小6	鬼塚 和利（上志佐）	15 秒 6	大原 和起（大崎）	吉田晃之進（福島）
	中1	青木 朱生（今福）	13 秒 6	宮崎 一史（調川）	田中 佑（今福）
	中2	山内 健治（御厨）	12 秒 5	香林 亮栄（御厨）	前田 裕樹（御厨）
	一般	小畑 久之	15 秒 2		
200 [㍓]	中1	青木 朱生（今福）	28 秒 2	田中 佑（今福）	坂本 祐輔（今福）
	一般	吉岡 健次			
1000 [㍓]	小5	鬼塚 翔太（上志佐）	3 分 41 秒 7	北村 英毅（上志佐）	牟田 奨太（志佐）
	小6	森 勝彦（大崎）	3 分 35 秒 5	齋藤 隆史（福島）	下條 聖人（福島）
1500 [㍓]	中1	宮本 仁徳（今福）	5 分 2 秒 2	福井斗喜也（今福）	田中 大巳（今福）
	中2	坂本 竜平（調川）	4 分 44 秒 3	松尾 龍（今福）	香林 亮栄（御厨）
	中3	千北 喬之（今福）	4 分 42 秒 4	白石 海斗（今福）	中山 公仁（今福）
	一般	岡本 善博	4 分 50 秒 4	大塚 純司	白石 孝浩
3000 [㍓]	中学共通	千北 喬之（今福）	10 分 01 秒 0	白石 海斗（今福）	中山 公仁（今福）
	一般	松尾 匡易	9 分 23 秒 3	大塚 純司	白石 孝浩
走幅跳	5・6年共通	椎山 晃（鷹島）	3 [㍓] 66	前田 大心（今福）	木寺 陸人（福島）
400 [㍓] リレー	小学	今福A （福田・前田・田中・武部）	1 分 04 秒 5	志佐 （谷本・近藤・森・牟田）	福島B （木寺・齋藤・下條・吉田）
	中学	御厨 （香林・前田・前田・川本）	54 秒 0	今福 （青木・田中・坂本・高木）	

【女子】

種目	別	1位	記録	2位	3位
100 [㍓]	小3	泊 萌乃美（大崎）	18 秒 4	北村 李音（上志佐）	豊島 伶那（田代）
	小4	門 歩乃華（鷹島）	17 秒 1	矢野 舞花（福島）	内田 晴香（鷹島）
	小5	永田希良来（鷹島）	16 秒 5	丸久保里佳（大崎）	内田真莉絵（大崎）
	小6	川本 沙希（鷹島）	16 秒 3	永田 千恵（今福）	吉永 花梨（今福）
	中1	吉澤 聖佳（鷹島）	15 秒 3	櫻野 果（御厨）	川上湖代美（御厨）
	中2	鈴木 綾華（御厨）	14 秒 5	和田 結衣（今福）	濱崎 リサ（御厨）
	中3	川上湖代美（御厨）	32 秒 5		
200 [㍓]	中1	鈴木 綾華（御厨）	29 秒 3	勝村 涼子（御厨）	
	中2	久原ひかり（御厨）	32 秒 4		
	中3	久原ひかり（御厨）	32 秒 4		
1000 [㍓]	小5	内田真莉絵（大崎）	3 分 56 秒 9	百武さくら（志佐）	大川内みどり（田代）
	中1	前田 瑞希（今福）	5 分 41 秒 5	香嶋 夕貴（今福）	鈴木 涼華（御厨）
	中2	勝村 涼子（御厨）	5 分 25 秒 8	川原 愛佳（今福）	坂本 郁実（今福）
	中3	久原ひかり（御厨）	5 分 53 秒 0		
走幅跳	5・6年共通	川本 沙希（鷹島）	3 [㍓] 75	吉田 陽（志佐）	浅田菜々子（志佐）
	中学共通	吉澤 聖佳（鷹島）	4 [㍓] 25	中村美登里（鷹島）	萩原 千尋（上志佐）
	一般	森 万利子	3 [㍓] 87		田中美由紀（御厨）
400 [㍓] リレー	小学	今福A （吉永・永田・白尾・田中）	1 分 07 秒 3	上志佐 （小西・萩原・吉井・神田）	鷹島 A （門・内田・川本・石田）
	中学	御厨 B （鈴木・川上・櫻野・勝村）	57 秒 0	今福 （和田・久重路・川原・坂本）	御厨 A （濱崎・久原・飯塚・辻）



ソフトボールで親ぼく

第21回労政協親善ソフトボール大会(松浦市商業労政推進協議会主催)が7月9日から18日にかけて、ニッチツグラウンドで開催されました。

労働者相互の親ぼくと体力向上を図ることを目的に、毎年開催されています。

今大会には市内の17事業所から23チームが参加。7月18日に行われた決勝では、ダブルプレーなども飛び出し、元気いっぱいのプレーで親ぼくを深めていました。上位の結果は次の通りです。

- ①松浦衛生事業協同組合 ②中興化成工業(株)B
- ③中興化成工業(株)D、住商エアバッグ・システムズA



バレーボール大会で親ぼく

第32回福島町一般バレーボール大会(市体育協会福島支部主催)が7月20日、福島体育館で開催されました。

福島町民の体力増進と、親ぼくを深めることを目的に毎年開催されています。

この日集まった7チーム約50人の選手たちは、熱気あふれるプレーで親ぼくを深めていました。

上位の結果は次の通りです。

- ①日ノ浦A ②福崎
- ③端、伊万里釜



青少年の健全育成と非行防止を呼びかけ大会開催

第19回松浦地区防犯少年ソフトボール大会(松浦地区少年補導員連絡協議会・松浦警察署主催)が7月12日、市民運動公園で開催されました。

大会には市内から7チーム約110人が出場し、熱戦を繰り広げました。なお、上位1チームが8月に行われる県大会に松浦地区代表として出場します。

上位の結果は次の通りです。

- ①星鹿少年ソフト
- ②鷹島ホークス
- ③調川少年ソフトクラブ



第2回松浦地区防犯小学生バレーボール大会(松浦地区少年補導員連絡協議会・市小学生バレーボール連盟主催)が7月12日、松浦スポーツセンターで開催されました。

大会には市内から9チーム約110人が出場し、熱戦を繰り広げました。なお、上位2チームが8月に行われる県大会に松浦地区代表として出場します。

上位の結果は次の通りです。

- ①泉(志佐小) ②飛鳥(今福小)
- ③田代(田代小) ③青葉(御厨小)



「社会を明るくする運動」

7月の「社会を明るくする運動」強調月間にちなんで、各地域で行われたさまざまな活動を紹介します。

「社会を明るくする運動」とは…

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、明るい社会を築こうとする毎年実施されている全国的な運動です。

【松浦地域】 啓発パレードを実施

7月2日、松浦更生保護女性会（上松シズエ会長）の会員や市内の保護司など約20人が、啓発パレードを行いました。

この日は、会員が準備した啓発用ビズケットや、ポケットティッシュなどを配布しながら、約1時間かけて志佐町内を歩きました。



【福島地域】 ポスターを募集

福島町更生保護連絡協議会が主催で、福島町の小学4、5、6年生と福島中の美術部員、約120人を対象にポスターが募集され、各学校で選ばれた代表作品10点ずつが応募されたものです。

応募作品から選ばれた表彰作品は、市役所福島支所、福島町社会福祉センター、福島保健センター、いろは島荘に、8月末まで展示されます。上位の表彰者は次の通りです（敬称略）。

【小学生】最優秀＝吉田晃之進（福島・6年）

優秀＝森門雅（福島・6年）、島田真代（養源・5年）

【中学生】最優秀＝平松春花（3年）

優秀＝徳田英理子（3年）、山田沙央里（2年）



▲中学生の部 最優秀の
平松春花さんの作品

▲小学生の部 最優秀の
吉田晃之進君の作品

【鷹島地域】 ポスターと標語の募集と啓発パレードを実施

保護司などで構成される社会を明るくする運動実施委員会主催で、鷹島小4、5、6年生と鷹島中の全校生徒を対象として各学校で選ばれた10点ずつが応募されたものです。応募作品から選ばれたポスター・標語の表彰作品各20点が強調月間の1か月間、支所玄関横に展示されました。

また7月1日には、同委員会の会員約35名と鷹島小の4・5・6年生58人で構成される鼓笛隊による啓発パレードも行われました。ポスター・標語の表彰者は次の通りです（敬称略）。

【小学生・ポスターの部】最優秀＝永田希良来（5年） 優秀＝湯高葵（5年）、下松吟平（6年）

【小学生・標語の部】最優秀＝吉澤菜里（6年） 優秀＝森楓華（5年）、中川稚菜（6年）

【中学生・ポスターの部】最優秀＝辻畑仁美（1年） 優秀＝辻畑みのり（3年）、大石真純（3年）

【中学生・標語の部】最優秀＝大石真純（3年） 優秀＝宮本富加（2年）、辻畑みのり（3年）



◀ポスター・
標語の展示
（鷹島支所）



◀啓発パレード（鷹島小
児童による鼓笛隊）

古墳時代の松浦（3）

古墳時代も終わりごろの6世紀から7世紀になると、古墳を造る階層が広がり中小の豪族が家族の古墳を造るようになります。これを群集墳と呼んでいます。市内では鷹島町に薫崎鬼塚古墳・宝ヶ峯古墳群、福島町に横島古墳・小島古墳、御厨町に小嶋古墳群があります。

小嶋古墳群は大崎海水浴場の側の、海に面した標高約6mの小嶋に位置しています。基数は3基ですが、残念ながらいずれも本来の円墳の形状をとどめておらず封土・天井石もなく扁平な板状石で築かれた横穴式石室が露出しています。3基のうち1基を昭和62年に調査を行っています。石室は全長5.2mあり、玄室は奥幅2.3m、前幅1.4m、右壁長1.5m、左壁長1.4mありほぼ方形の形をしています。床面には礫が敷かれていました。写真は死者を葬った玄室内から出土した遺物です。上段が銀メッキの耳飾。中段左2点が碧玉製勾玉、その右が碧玉製丸玉、右が滑石製丸玉。下段左2点がガラス製丸玉、外はガラス製小玉です。このほかにも鉄鏃・鉄刀などがあります。この古墳は7世紀後半代に造られたもので、葬られた人は海上交通や漁労をする人々を支配した豪族の一人だと考えられます。そのほかの古墳は豪族の家族だと考えられます。



クリス先生
(アメリカ出身)

The 4th of July 7月4日

アメリカ人が毎年大切に思っている日があります。それは、独立記念日として知られている7月4日です。1774年のこの日、議会在イギリスからの独立を宣言する声明「独立宣言」を採択しました。これは、アメリカの独立のための大切なステップで、アメリカ合衆国の誕生した日とも考えられています。

アメリカ人は自由の大切さを思い出させる日として7月4日を祝います。ほとんどの人が合衆国の旗の色（赤、白、青）を身につけ、アメリカの国旗がいたるところに掲げられます。例年この日は天気が良く、人々はバーベキューやピクニックをします。街ではパレードが行われ、アメリカの国歌「星条旗」が流れます。そして、夜には花火を見ることが習わしです。

私は今年の7月4日はアメリカにいませんでした。市内で、友人たちとバーベキューや花火をして祝いました。祝ったのはアメリカ人だけではなく、カナダ人、オーストラリア人、オランダ人そしてもちろん日本人の友人も一緒でした。もう一つ大切なアメリカの伝統は、さまざまな人々と共にいることです。ですから7月4日はアメリカ人にとって特別な日なので、世界中の友人たちと過ごすことは嬉しいことなのです。





図書館の仕事（活動）

～カウンターの裏側で その三～

図書館は、さまざまな資料や情報を求める利用者に対し、それが得られるよう所蔵資料やその他図書館のあらゆる機能を使って援助する「レファレンスサービス」を行っています。内容は、暮らしに密着したことから専門的なことまで、実にさまざまです。利用者に満足してもらえ情報の提供ができるよう日々奮闘しています。これからの時期多くなるのが、夏休みの自由研究に関する問い合わせです。同じテーマの資料へ予約が集中したり、他の図書館から資料を借り受けることも多いので、時間に余裕をもってお問い合わせください。

この本！（本の紹介）

- ・本格ミステリ 08 2008 年本格短編ベスト・セレクション
本格ミステリ作家クラブ／講談社
- ・明日もまた生きていこう―十八歳でがん宣告を受けた私―
横山友美佳／マガジンハウス

・荒野 桜庭一樹／文藝春秋

・ラクチン！食費節約のキホン 目指せ！1ヶ月で食費1～2万円
／主婦の友社

・安くて良い宿公共の宿 09 九州 ／昭文社

* 予約・リクエストは、カウンターかきらきら号で
申し込んでください。

きらきら号がゆく③

～雨の日の巡回～

「利用者や本が濡れては大変」と雨よけのテントを出し、ビニールカバーを張って、タオル片手に雨と闘います！そんな悪天候でも巡回をお知らせする「きらきら星♪」のメロディーを聞いて駆け付けてくれた女の子。利用者の皆さんの笑顔があるかぎり、いつまでも走り続けたいと思うきらきら号でした。



▲星鹿港広場での様子



問合せ先 健康ほけん課

うつ病の危険信号

ストレスの多い今日、社会の価値観の多様化や環境の変化などが引き金となり、心の病を発症する人が多くなっています。職場や家庭などいろいろなストレスと共存している私たちにとって心の病はとても身近な病気です。誰でも嫌なことがあったりストレスがたまれば、気分が沈みがちになりますが、それは一時的なもので気分転換などにより解決できることもあります。しかし、「うつ状態」になると、精神安定の作用を持つ脳内物質セロトニン・ノルアドレナリンがうまく働かず、日ごろ楽しめていたことですら興味がなくなり、落ち込みの激しい状態が2週間以上続きます。その結果、食欲もなくなり、眠れず、頭痛や肩こりなどのさまざまな症状が出てくるのです。

うつ症状の前ぶれをいくつかご紹介します。心当たりはありませんか？

サザエさん症候群

日曜午後6時半から放送されている「サザエさん」。サザエさんを見終わることは休日が終わることを意味し、明日の学校や仕事のことを考えると気分が沈んで、体調不良や頭痛などを訴えたりします。

空の巣症候群

特に中高年に見られる症状で、子どもが結婚や独立で家を出て行った後に、空になった家に一人おいてけぼりをくったような寂しさや孤独を感じたり、不安に襲われたり、食欲不振・不眠など身体症状も出てくることをいいます。

燃え尽き症候群（バーンアウト）

やりがいのある仕事に熱中してきた人が、知らないうちに心理的プレッシャーを受けて心身ともに疲労し、憂鬱、イライラなどの精神症状とともに強い無力感にかられます。

うつ病は一生のうち10人に1人がかかる病気と言われています。一人で抱え込まず、仕事仲間や家族などに相談しましょう。「気分の落ち込み」やそれによる不調が2週間以上続くようなら、専門の医療機関（精神科）を受診しましょう。

温かい心ありがとうございます

一般寄付

【鷹島支所】

○熊本 清視様 (鷹島・中通)
亡父 儀助様

○下久保満秋様 (鷹島・神崎)
亡次男 守行様

○丸山 敏朗様 (鷹島・三里)
亡母 キヌ様

○山本 友信様 (鷹島・阿翁浦)
亡父 達雄様

○大石 満弘様 (鷹島・阿翁)
亡母 知枝野様

●御厨・星鹿地区社会福祉協議会へ金一封
○西田 金藏様 (御厨・小船)
亡母 喜代子様

○浦田 博隆様 (御厨・川内)
亡母 サツ様

○松本 輔久様 (御厨・郭公尾)
亡母 トメ子様

○辻竹 信一様 (御厨・西木場)
亡父 役二郎様

○中川 康治様 (御厨・池田上)
亡母 カネ子様

●調川地区社会福祉協議会へ金一封
○佐々木英子様 (調川・江口1)
亡夫 敏彦様

●今福地区社会福祉協議会へ金一封
○村田 主様 (今福・本町)
亡妻 道子様

●志佐地区社会福祉協議会へ金一封
○金子有希子様 (志佐・長野)
亡夫 純一様

○大石 裕様 (志佐・里1)
亡母 トシ子様

○池水 ケイ子様 (志佐・立町)
亡夫 明様

○中村 和貴様 (志佐・池成)
亡父 幸重様

結婚

おめでとう

坂本 祐輝 星鹿・川原辺田

(白石) 香代子 星鹿・牟田

渡邊 建美 鷹島・阿翁浦

(末吉) 裕子 江迎町

横山 祐樹 福島・播磨釜

(畠) 真奈美 唐津市

坂本 淳吾 鷹島・殿ノ浦

(西川) 千尋 岐阜県

高尾 敦史 星鹿・星鹿

(志水) 礼 御厨・中野

田中 満 福島・端

(諸富) 愛幸 福島・端

お誕生

おめでとう

() 内は親の名前

坂本 聖名 (周史) 御厨・小船

中村 優太 (智也) 志佐・大浜西

梶原 愛瑠 (孝充) 調川・白井

田中 大海 (大平) 調川・七区ノ二

藤崎 大志 (猛) 今福・北東3

大串 愛純 (中郎) 福島・福崎

田中 和志 (慎也) 志佐・里2

志水 悠汰 (鉄也) 福島・播磨釜

三股 静奈 (祐樹) 志佐・蛭子崎西

田端 友夢 (順一) 御厨・寺ノ尾中

前田 健晴 (英次) 御厨・御厨団地
前田 麗蘭 (真信) 志佐・下高野
吉富雄太郎 (和人) 志佐・里1

ごめい福を

お祈りいたします

黒河 芳和 (61歳) 志佐・里田原1

荒牧とみ子 (54歳) 御厨・板橋

平松チツエ (87歳) 福島・鍋串

中島 義光 (78歳) 志佐・元町

山口リエ子 (86歳) 志佐・栢ノ木

山本 達雄 (86歳) 鷹島・阿翁浦

陣内 年秋 (67歳) 福島・伊万里釜

木寺 紘一 (66歳) 福島・伊万里釜

平原 一彌 (86歳) 調川・中興

桐木 将興 (28歳) 鷹島・中通

今村シヅコ (96歳) 調川・七区ノ一

尾崎 祐弘 (55歳) 志佐・不老山

渡邊 博 (79歳) 鷹島・阿翁浦

西田 勝 (81歳) 御厨・小船

西浦 セキ (82歳) 御厨・札場

熊野 泰人 (82歳) 志佐・元町

田中つや子 (97歳) 今福・滑栄



松浦への
思いを語る

リレーエッセー

31

市報 まつうら8月号

N. 32

平成20年8月1日発行

■編集発行／松浦市役所総務課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地 ☎0956-72-1111 FAX 72-1115
福島町からは：47-3011 鷹島町からは：48-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp> Eメールアドレス matsura@city-matsura.jp
■表紙文字 近藤寿一書（総務課） ■印刷／有限会社タイセイ印刷

○職業・仕事内容
福島中学校校長。新任で御厨中学校に赴任して以来、20年ぶりに松浦市に戻ってきました。福島の子どものために何かできるかを考えながら仕事に励んでいます。福島中学校を日本一の学校にしたいと思います。

○松浦市の好きな場所・特長
明け方の散歩の時に見える赤紫に染まった空。土谷の棚田の光る水面。夕焼けの景色の中でかすんで見える島々。福島の様々な場所で美しい風景を発見し、楽しんでいます。

○現在頑張っていること・アピールポイント
福島に来て4か月余り。ようやく新しい生活にも慣れてきました。松浦は海のきれいな所。ぜひこの夏は釣りをやりたいと思います。松浦の自然を満喫したい！
御厨中学校時代の教え子たちは、もうお父さん、お母さん世代ですか。今みんなどうしているのか気になります。みんな、連絡ください。

いくこ
萩原郁子 さん
(福島・伊万里釜、47)



次回は…
萩原さんから、
かまもとひであき
金元英晃さん（今福・人柱）に
バトンタッチ！



今月号では、体験型旅行を特集しました。安全・安心な体験と修学旅行生とのふれあいを第一に考えて取り組まれる民泊受け入れ家族やインストラクターの方の姿が印象的でした。

広報担当になって3か月。取材を通していつも感じることは、皆さんがそれぞれの職場や地域の中ですてきに輝いておられるということです。そのたびに、感動と元気をいただいています。「私も頑張らねば！」。はまも、皆さんのようにいつも輝きを持った人になれるように努力したいと思います。

編集室から

人口

平成20年7月1日現在
人口 26,538 (-9)
男 12,660 (0)
女 13,878 (-9)
世帯数 10,254 (-3)

住民基本台帳から

福岡まで1時間！ 西九州自動車道の日も早い完成を！



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙（100%）を使用しています。

市報まつうら 2008・8 34